資料5

ジェンダー統計の観点からの性別欄検討WG
第2回（2022年5月20日［資料更新8月29日］

ジェンダー統計の重要性

杉橋やよい
専修大学 経済学部

私の立場

- 社会統計学

- 統計関連の所属学会
  - 経済統計学会
    - ジェンダー統計研究部会
  - 日本統計学会

数理統計学

（社会的および自然的問題の） 数量的データの数理的処理（計算）方法

社会統計学

① 統計制度
② 統計生産の方法
③ 総合加工統計（例 SNA）
④ 統計の加工・利用の方法
⑤ 統計の品質

経済統計学会
ジェンダー統計研究部会

- ジェンダー統計研究部会（Gender Statistics Section: GSS）は，2001年9月の経済統計学会第45回全国総会の会員総会にて承認され、2002年3月に設置された研究部会。

部会の目的：

① ジェンダー問題，ジェンダー統計理論，ジェンダー統計運動等に関する国内外での研究成果もふまえて，ジェンダー統計研究をさらに進展させる。

② 国内外の統計学その他の研究分野および学校教育や社会教育でジェンダー統計視角の拡大をはかる。

③ 中央および地方の政府機関の統計活動におけるジェンダー統計視角の拡大，普及，定着（メインストリーミング）に連携，協力する。

研究部会の活動（予定）：

① 国内外のジェンダー統計の理論と運動に関する情報と意見の交換。

② 研究会の企画，研究報告。

③ 学会全国総会でのセッションの企画，研究報告。

④ ジェンダー統計講師活動の研究，講師の育成と講師の派遣。

⑤ 国内外の機関，組織，研究グループ，研究者，運動家等との交流，共同研究。

構成

1. ジェンダー統計とは
2. ジェンダー統計の世界・日本での展開
3. ジェンダー統計の役割とその重要性
4. おわりにー性別欄廃止の動きにかかわってー

1. ジェンダー統計とは

「生活のあらゆる分野の女性と男性の状況における差異および不平等を適切に反映している統計」
（国連 2006）

はじめに (1)

- ジェンダー統計 ≠ 性別区分の統計
  - ① 男女間の格差・差別　ー　二項区分
  - ② 性的マイノリティの状況　ーSOGIを加える
  - これまで①が中心。②も含めてジェンダー統計を発展させるべき。実際，欧米の公的統計で進んでいる。
  - ②の公的統計のあり方：当事者団体との協議が必要
    - 調査票（個人/世帯）：SOGI対応
    - 集計・公表：ディスクロージャーに配慮。
- 本報告は，
  - ②を部分的に取り込んでいるが、①をベースにしている
    - ②を含むジェンダー統計論の展開が必要。
  - 調査統計を中心に
    - 業務統計、加工統計、実態調査・・・

1. なぜ統計データに着目？
ー現実をリアルに反映した統計の働きー

- SOGIに由来する格差・差別の存在
  - どのような問題があるか
  - どれほど深刻か
  - どう解決していくか
  - どういう目標をもってどのような政策をつくるか
  - 政策は効果的であるか
- 全体の状況を，具体的に数量をもって捉える必要性
- ➔ジェンダー統計の必要性

1. 統計データの限界（一部）
－現実反映性の点から－

- 統計データの限界
  - 複雑な社会経済問題
  - 統計生産者の認識
  - 調査員の認識と回答者とのコミュニケーション
  - 回答者の記憶・負担・拒否
- 統計データの加工（集計や分析等）方法次第では，さらに現実をゆがめる可能性がある。

1.ジェンダー統計とは…(1)
一言でいえば‥

- 統計生産過程のすべての段階、そして統計分析においても、ジェンダー/SOGI視点を組み込んだ統計生産、統計利用、統計活動
  - 理論的・組織的準備過程から、実施過程、統計資料の公表および貯蔵

←→

  - 「男女別に区分された統計」
  - 「ジェンダー問題に特化した統計」
  - 「男女の1変数を加えた数理・計量統計分析」

1.ジェンダー統計とは… (2)

より具体的に

- 集計・公表データが性別(SOGI)区分をもつ
  - 個人だけでなく、資源・制度・施設についての統計もできる限り性別表示
  - さらに，年齢、その他関連する重要属性による多重クロスを備えた統計
- ジェンダー/SOGIに由来する問題を取上げる
  - 現状、背景・原因、影響を取り上げる
- 定義や概念にジェンダーバイアスがない
- 統計データの収集方法においても，固定観念，社会的文化的要素に配慮する。

日本での事例（一部）

- データがない
  - サービス残業時間
- ステレオタイプ
  - 家計調査：世帯主とその妻
  - ワークライフバランス
- 性別区分が弱い・ない
  - 労働組合執行委員
  - 過労死・過労自殺
  - 配偶者・交際相手による殺害　他
- 内閣府の調査（2012）
  - 男女別の必要はない
  - 報告者の負担軽減

統計におけるステレオタイプ
世帯主＝夫＝男

- 家計調査
  - 勤労者世帯，収入主体別勤め先収入

～1992年

世帯主

妻

他の世帯員

1993年～

世帯主

うち男

配偶者

うち女

他の世帯員

統計におけるステレオタイプ
世帯主＝夫＝男

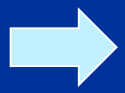
- 全国消費実態調査（現「全国家計構造調査」）
  - 勤労者世帯，収入主体別勤め先収入

～1984年

世帯主

妻

他の世帯員



1989年～

世帯主
- 男
- 女

配偶者
- 男
- 女

他の世帯員
- 男
- 女

第Ⅰ期統計基本計画:素案と答申
WLBの認識

項目		素案		答申		GSSからの意見(一部) (下線は挿入希望する箇所)	反映度
		頁	文章	頁	文章		
(2) 少子高齢化等の進展やワークライフバランス等に対応した統計の整備・充実	ア 現状・課題等	17	このため、ワークライフバランスにも配慮し、女性が就業しつつも、同時に、結婚や出産・子育てをしやすい環境の整備が強く求められている。	18	このため、ワークライフバランスにも配慮し、結婚、出産、子育て期の男女、とりわけ女性が就業しつつも、同時に、結婚や出産・子育てをしやすい環境の整備が強く求められている。	このため……女性が……子育てしやすく、男性も就業しつつ、子育て、家事労働、地域活動に参加しやすい環境の整備が強く求められている。」	○ (意見書2)
		17	こうした少子高齢化等の進展への対応の検討を客観的・科学的に行うためには、基礎となる統計の整備が不可欠である。	18	こうした少子高齢化等の進展への対応の検討を客観的・科学的に行うためには、基礎となる統計の整備が不可欠である。	……行うためには、基礎となる統計の男女共同参画統計の見地を入れた整備が不可欠である。	× (意見書2)
	イ 取組の方向性	17	このため、女性の結婚、出産、出産後も子育てしながら就業できる環境作りなどに関する実態を的確に捉える観点から、	18	このため、男女共同参画の視点を踏まえつつ、結婚、出産、出産後も子育てしながら就業できる環境作りなどに関する実態を的確に捉える観点から		○ (意見書1)
		17	②女性の就業と結婚、出産、子育て、介護等の関係をより詳細に分析するための統計の整備等の適時・正確な関連統計の充実について検討する必要がある	18	②就業と結婚、出産、子育て、介護等の関係をより詳細に分析するための統計の整備等の適時・正確な関連統計の充実について検討する必要がある	統計の整備、③男女に関して性別、年齢別データの表章を行い、可能な限り統計ニーズも踏まえて雇用形態などの属性や世帯などの家族属性などの各種クロス集計の強化, 等の適時・正確な……	②は○ ③は×

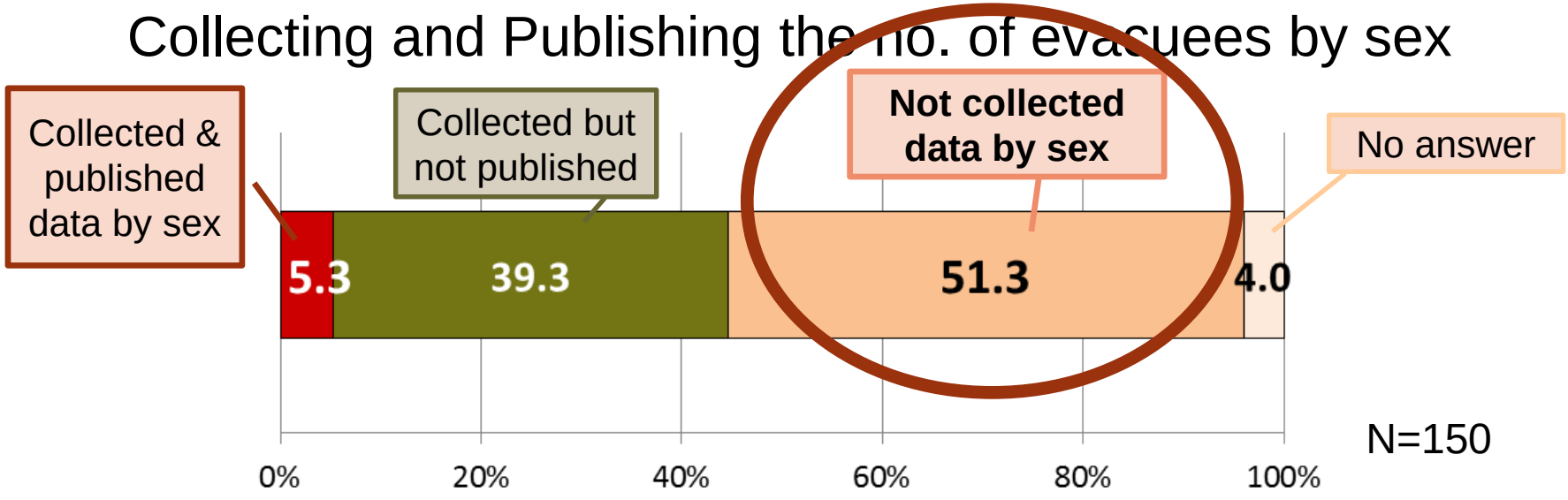
出所:杉橋(2009)作成

自然災害の被害状況に関するジェンダー統計は少ない

- Very little data on all aspects of the disaster risk reduction process are by gender and age.
  - No data on mothers with children evacuating separately from fathers due to the nuclear accident.

Figure:

Collecting and Publishing the no. of evacuees by sex



Source: Gender Equality Bureau (2012) “Survey of Gender Equality in Recovery from the Great East Japan Earthquake” p.47

内閣府男女共同参画局（2013）「政府の計画における数値目標等に係る男女別統計の整備状況調査」

3　結果の概要

ア　男女別の有無　及び　今後の対応

n=114

(1) 収集し、集計し、表章している	77
(2) 収集し、集計しているが、表章していない	1
(3) 収集しているが、集計・表章していない	14
(4) 収集・集計・表章していない	22

n=37

(1) 今後、男女別に把握する予定	3
(2) 男女別に把握することを検討中	1
(3) 男女別に把握することを検討していない（把握しない）	33*

*うち、サンプル調査の実施等により把握予定　1

○収集・集計・表章していないもの

（報告者負担の軽減のため）

・高校中退者の割合（「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」、一般統計）
・日本の生徒・学生等の海外留学者数（初等中等教育段階）（業務統計）
・外国人留学生数（初等中等教育段階）（業務統計）
・ 介護職員数（「介護サービス施設・事業所調査」、一般統計）
・ 障害者の実雇用率（民間企業）（業務統計）

（男女別把握は必要ないと考えたため）

・学習指導要領に基づき達成される英語力の目標を達成した中高校生の割合等（「『国際共通語としての5つの提言と具体的施策』に係る状況調査」、業務統計）
・低所得世帯の学生等のうち授業料減免を受けている者の割合（業務統計）
・大学への社会人入学者数（学部）（業務統計）

（基データに男女別がないため）

・訪日外国人旅行者数（日本政府観光局調べ、加工統計）

2. ジェンダー統計の世界・日本での展開

2. 国連のジェンダー統計活動 (1)

- はじまり：1975年　国際女性年　～
- 中心機関：北欧、国連統計委員会，国連統計部，INSTRAW→UNWomen
- 女性の統計 → ジェンダー統計　へ
- 2006年～
  - Global Gender Statistics Programme
  - Inter-Agency and Expert Group Meeting on Gender Statistics（日本はスイスと共同議長国）
  - Global Forum on Gender Statistics

2.国連のジェンダー統計活動　(2)

- 概念と方法の検討･開発
  - 世帯主概念，インフォーマル経済での女性の就業，無償労働，生活時間調査，SNAと経済活動人口，暴力，貧困，資産所有，起業，障害，世帯内権力
  - SOGI，貿易，環境：検討が進行中
  - 生活時間調査の利活用とコロナ
- 新たな課題
  - ビッグデータの使用，暴力（男性の視角と経験についての統計），ステレオタイプの測定，異なるデータ源の統合

国連（2005, 2016, 2021）ジェンダー統計戦略　概要

- 国家統計システム（NSS）のリーダーシップ
- 政府統計の法的枠組みにジェンダー統計を組み込む。
- 統計の利用者と生産者の対話・協力
- 概念と方法の開発と改善
- 統計生産者のジェンダー統計に関する訓練
- ジェンダー統計担当部署の強化，国家統計局とジェンダー関係部局との対話・協力

国連・日本統計協会訳（2005）『世界の女性2005－統計における進展－』
UNSD (2016) *Integrating a Gender Perspective into Statistics*, UN
UN (2021) *The Handbook on Management and Organization of National Statistical System*, UN

7th Global Forum on Gender Statistics in Tokyo, Japan

- 2018/11/15 Session 5: Gender equality and human rights　3ヶ国がSOGIに関する調査の検討について報告
  - ニュージーランド
  - アメリカ
  - カナダ

2.日本でのジェンダー統計の動向

政府：第Ⅲ期 統計基本計画（2018-）

「第１ 施策展開に当たっての基本的な視点及び方針」

ジェンダー統計該当箇所抜粋

男女の置かれている状況を客観的に把握するための統計（ジェンダー統計）については、国際連合統計部が「ジェンダー統計作成マニュアル」において、各種統計の作成過程でジェンダーに関する視点を取り込むことの重要性を指摘している。国内においても、「第４次男女共同参画基本計画」（平成27年12月25日閣議決定）、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（平成28年12月22日SDGs推進本部決定。以下「SDGs実施指針」という。）において、ジェンダー統計の充実の観点から性別データの把握等に努めることが求められている。これらの施策上のニーズを踏まえ、可能な限り性別ごとのデータを把握し、年齢別・都道府県別にも把握・分析に資する統計の作成・提供を推進する。 (p.6)

2.日本でのジェンダー統計の動向
政府:「第5次男女共同参画基本計画」

第2部政策編ー「Ⅳ推進体制の整備・強化」

1. 多様な性を統計で把握することの課題を検討する,
2. 各種統計の整備状況を調査して公表する,
3. 「男女別」に加えて，年齢および都道府県による区分を可能な限り行う,
4. 国民に分かりやすいように公開する
5. 二次的利用の促進
6. 意識と生活時間の男女別データを利活用して男女共同参画に向けた調査研究の推進

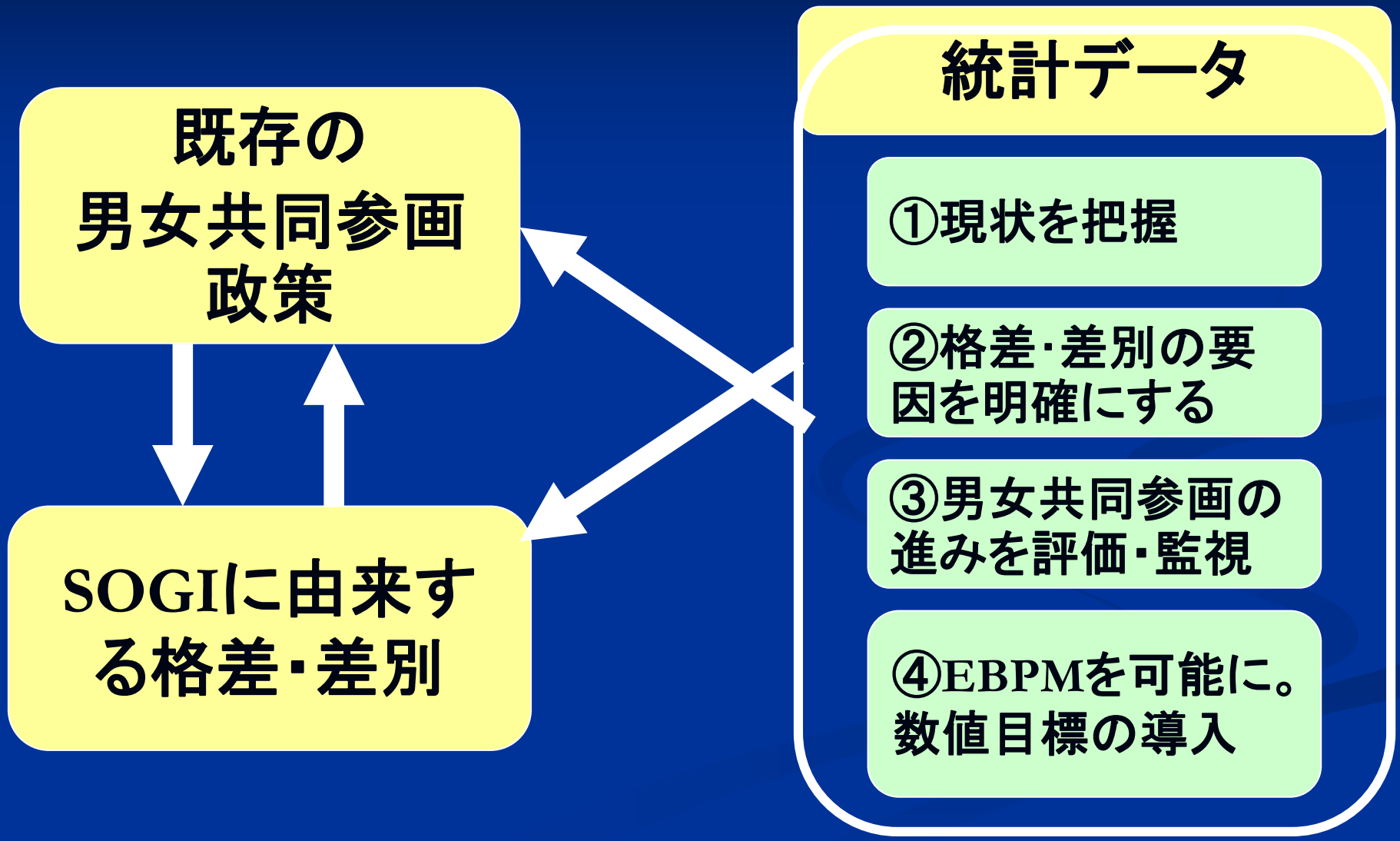
2.日本でのジェンダー統計の動向 NWEC・研究者

- 国立女性教育会館
  - ジェンダー統計活動の
    - 地方自治体へのジェンダー統計教育・訓練支援
    - データベースの構築
    - 『男女共同参画統計データブック』や「男女共同参画統計ニュースレター」
- 経済統計学会・ジェンダー統計研究部会
  - ニュースレター（年3回発行　2004/4-）　2022.5で55号
    - 公的統計とLGBTQ/SOGI　伊藤陽一氏が国際的な動向を紹介・検討

2. 日本におけるジェンダー統計の制度的課題－中央政府を中心に－

1. GS活動を保証する法規等の策定
2. GS充実の責任体制
3. 政府機関におけるGS活動の連携の強化
4. 政府職員のジェンダー統計の認識を深めること
5. 性、年齢別クロスの定期的な監視・報告
6. 幅広い利用者との定期的、経常的な連携

3. 男女共同参画社会とジェンダー統計



4. おわりに

―日本の性別欄廃止の動きにかかわって―

- 性別欄の廃止への危惧
  - 男女間の格差･差別の不可視化
- 政府統計におけるSOGI項目とその重要性
  - 出生時に指定された性　と　現時点の性的指向と性自認　　の2段階の質問
  - 諸外国の先駆的実践例

地方公務員の採用選考における性別欄削除

- 国家公務員の幹部候補生採用選考プロセスにおけるジェンダー平等の検討
  - 男女別データを使って
- 地方公務員の採用選考プロセスの検討が困難に
  - 申込者の性別情報の廃止
- イギリスの幹部候補の国家公務員試験の応募者と合格者の性別情報
  - 女性、男性、その他等［わからない、答えたくない，無回答を含む］

村尾祐美子（2022.5）「公務員の採用選考と性別情報－差別と闘うツールとしてのジェンダー統計－」『大原社会問題研究所雑誌』No.763, pp.33-48

公的統計のSOGI調査の必要性と実践例（一部 1）

- SOGI調査の必要性
  - LGBTQが抱える困難・不利益を可視化→
  - 公平・公正、人権、データの品質の観点から

Alba., S. Wong, F. and Braten, Y. (2019) "Gender matters in household surveys" *SIGNIFICANCE*, 16(6) The Royal Statistical Society, pp.38-41
OECD (2019) *Society at a Glance 2019 OECD Social Indicators: A Spotlight on LGBT people*, p.10

- オーストラリア統計局によるSOGI統計の基準
  - Standard for Sex, Gender, Variations of Sex Characteristics and Sexual Orientation Variables（2016, 2021）
    - 性，ジェンダー，性的特徴の多様性，シスジェンダーとトランスとジェンダー多様性の分類　について，概念，質問方法，取り入れるべき要素，分類やコードのつけ方，アウトプットの仕方など　具体的に詳しく記述

伊藤陽一（2022.5予定）「国連による最新のジェンダー統計小論－国家統計組織ハンドブック（第4版－2021年8月刊）の9.10章「ジェンダー統計」の仮訳－」『ジェンダー統計研究部会ニュースレター』No.55予定

公的統計のSOGI調査の必要性と実践例（一部 2）

- アメリカ
  - Household Pulse Survey　2021.7 コロナとSOGI
    - コロナ禍のもとで，LGBTと非LGBTの格差・差別を可視化
  - 統計方法に関する連邦委員会　J. M. Ortman & Parker, K. L. “Why do Federal Agencies ask about Sexual Orientation and Gender Identity (SOGI) on Survey?” (2021.6)

    伊藤陽一（2022.1）「合衆国センサス局「世帯パルス調査（3.2段階）でのSOGI項目の導入－ITWGの報告と提言の紹介を中心に－」経済統計学会『ジェンダー統計研究部会ニュースレター』No.54 pp.30-50
    伊藤陽一（2022.3）「何故連邦機関は調査において性的指向とジェンダー自認（SOGI）を質問するのか？－統計方法に関する連邦委員会」経済統計学会『労働統計部会報』No.45, pp.5-8
  - 2020年センサスは男女の二項区分を採用。
    - 準備過程（オバマ政権時代）ではSOGIを取り入れる予定だったが，2017年以降のトランプ政権のもとで「男女」に変更。
    - LGBTの人口も不利益などの状況も可視化されないことに。